

くすの木通信

三高だより第192号

「想い」を行動にする

人権教育課長 大西裕美

ノーベル平和賞がロシアとウクライナ両国の人権団体と、ベラルーシの人権擁護活動家に贈られると決まりました。日本にいと、「平和」に憧れを抱いたり、「平和な暮らし」を夢に描いたりすることは少ないかもしれません。それだけ、私たちは「戦争」を感じずに生活しているということだと思います。今もおマスク着用ではありますが、2年前のような感染者数に怯えた日々とは違った生活になってきています。コロナウイルスに対して身体も心も少しずつ抵抗力がついてきて、収束の兆しが見えてきました。しかし、その間に起こったロシアとウクライナの戦争は、まだ続いています。日本は、紅葉の美しい穏やかな秋に向かっていますが、ロシアやウクライナでは命の危機にさらされながら生きている人がいるのです。

今年の文化祭で、人権委員の3年生2名が想いを述べました。宮崎さんは、「ヤングケアラー」について。もし、自分の周りに相談できず悩んでいる人がいるなら力になりたい、と述べました。藤下さんは、中学校で培ってきた人権意識が、高校生になって感度が鈍くなっているのでは、と課題を投げかけました。三島高校では、年に4回の人権・同和教育HR活動がありますが、受け身にならず、意見や想いを互いに出し合える場であってほしいと思います。現実には、まだまだ世の中には差別やいじめや偏見が存在します。自分には関係ない、という姿勢では何も解決しません。社会の中で、思いがけず差別に出会ったとき、差別を許さない毅然とした行動が取れる人であってほしいと願います。

2022年も残り2ヶ月。今、何を本気で頑張っていますか？目標に向かって努力し、上手くいくときもあれば、力及ばず悔し涙を流すこともあるでしょう。しかし、そこまで本気で頑張らなければ見えない景色があって、それは本気で頑張った人にしか見えないもの。そんな貴重な経験ができるのは、目標に向かって努力ができる環境の中で生活しているから。自分の目標に向かって一途に頑張れる、そんな恵まれた環境に感謝して、それぞれの残された学校生活を送ってほしい。自分を大切に、人を大切にする時間にしてください。今からの行動は、すべてあなたの「選択」次第。そんな「選択」ができる自由を大切にしてください。

11月は「差別を無くする強調月間」です。あなたの本気の頑張りが、あなたの笑顔が、あなたの元気な挨拶が周りの人を幸せにします。できることから始めましょう。今、想いを行動にするときです。